

長浦公民館だより

令和6年7月号

発行者 袖ヶ浦市長浦公民館
〒299-0243
袖ヶ浦市蔵波513-1
TEL 62-5713

4月に交流センターと名称が変わったのに、なぜ今も公民館を名乗っているのか疑問に思った方もいると思います。交流センターという建物の中に、公民館と行政センターという機能があると考えていただくと理解しやすいかもしれません。公民館には、地域の方々の社会教育を担うという大事な役割がありますが、その一つとして主催事業を展開しています。

小さなお子様から高齢の方々まで、それぞれの年代に合わせた主催事業を開催し、学びと交流の場を提供するように努めています。おかげさまで、どの講座も多くのの方々の申し込みがあり、とても良いスタートを切ることができました。

そこで今回は、公民館主催事業の紹介をかねて、講座の様子を紹介いたします。



わんぱく教室(全8回)

(長浦小・蔵波小児童対象)



5/25(土)に袖ヶ浦公園内の川をガサガサして、生物観察会を行いました。生き物をすくうと歓声があがり、博物館職員の解説に興味津々でした。



6/15(土)JAL折り紙ヒコーキ教室を開催しました。JAL職員の方々から一番よく飛ぶ「いかヒコーキ」の作り方と飛ばし方を教わりました。距離を競う大会には保護者も参加し、大いに盛り上がりました。

長浦ジュニアお琴・尺八教室(全14回)

(長浦・昭和地区小学4～6年生対象)



5/18(土)に開講式と1回目の稽古を行いました。初心者コース、経験者コースともに一生懸命練習しています。今年は尺八コースにも応募があり、これからの上達そして発表会が楽しみです。

ながうら遊学塾(全7回)

(市内在住・在勤者対象)



5/23(木)はボッチャで楽しく交流しました。6/26(水)の美文字講座では、たくさんの質問があり、有意義な学びの時間となりました。

まるごと体験セミナー(全7回)

(市内在住・在勤者対象)



今年度は、1からの味噌づくりに挑戦します。畑を耕し、大豆の種をまき、収穫、脱穀して味噌をつくるまでをまるごと体験します。第1回は大豆の栽培方法について学び、第2回は除草と耕しを体験しました。

子育てパパ応援講座(全5回)

(2歳から小学校就学前の子を持つ父親)



7/6(土)にプラズマカーで遊んだり、くるくるヘリコプターづくりなどの簡単工作で楽しみました。パパと子の笑顔あふれるすてきな時間でした。

小中学校家庭教育学級

(市内小中学校保護者)



7/4(木)に中学校、7/11(木)に小学校家庭教育学級合同講演会を行いました。今年は小中ともに性をテーマとした講演で、多くの方に参加いただきました。

さわやかスクール(全7回)

(長浦地区の60歳以上対象)



5/16(木)はレクリエーションゲームで交流しながら楽しみました。6/17(月)は君津中央病院の看護師さんを招き、「お家でできる嚥下体操」を教わりました。

地域デビュー講座(全5回)

(高校生～25歳くらいまで対象)



6/29(土)、地域ボランティアに関心のある高校生・大学生が集まりました。開講式の他、活動予定や社会教育推進員の話の聞いたり、ボッチャで親睦を深めたりしました。

【お 知 ら せ】

夏休み(7/20～8/29)の子どもの居場所づくりとして、ロビーの一角に、ソファとテーブルを置いてあります。読書やゲームなどで過ごせますよ。

※充電はできません。

編集後記

「きちんと勉強すれば、見える世界が変わる。勉強していないから見えていない。」これは、「いつやるの？今でしょ!」で有名な林先生の言葉です。

確かにもっとと学んでいれば見えていた世界はたくさんあったらうなって思います。でも、今からでも遅くはないですよ。

本講座での学びと出会いが、見える世界が変わるきっかけとなればうれしいです。

H・J